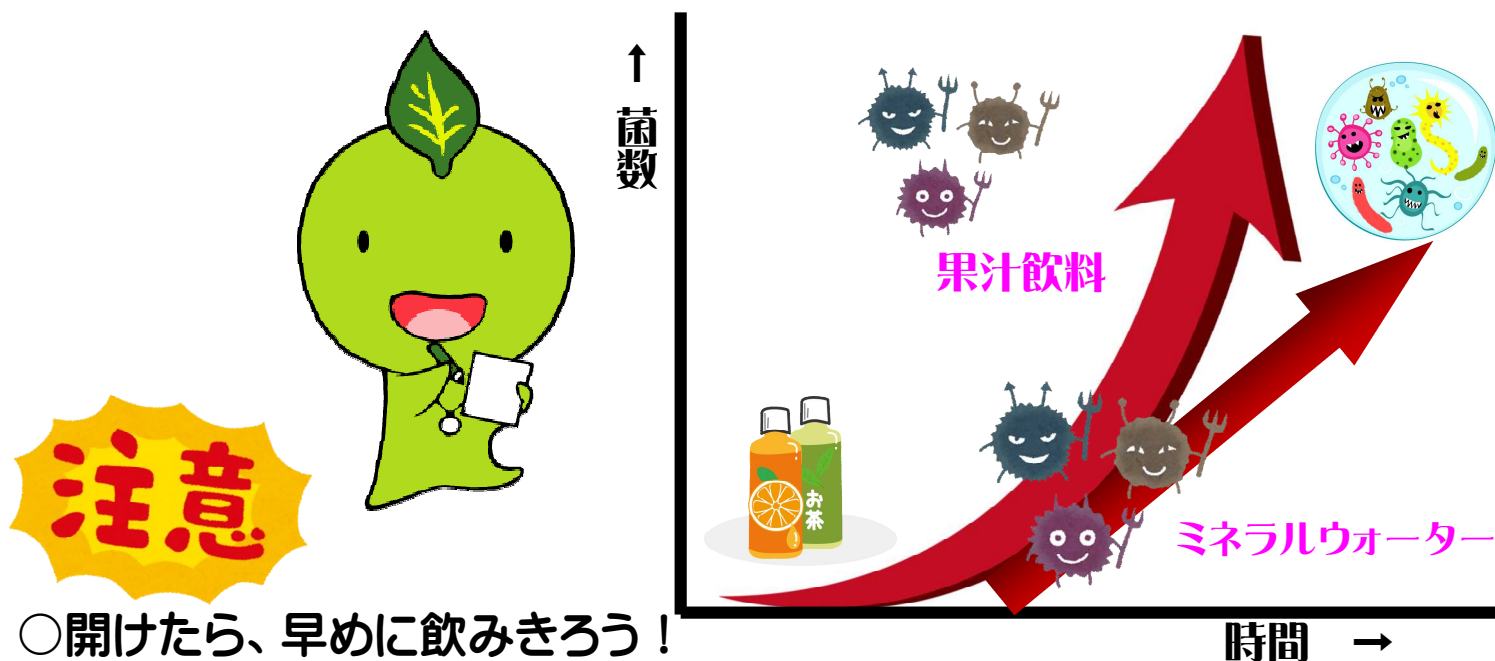


ペットボトルの飲み残しに 気を付けましょう



口をつけて飲んだ飲み物には、口の中の細菌が入ります。時間が経つと、ペットボトルの中で細菌が増えて不衛生になる可能性があります。持ち運びが便利で、熱中症対策にも不可欠なペットボトル飲料を、衛生的に利用して下さい。

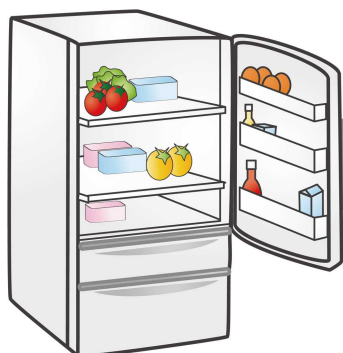


注意

○開けたら、早めに飲みきろう！



○部屋や車の中に置き忘れない！



○飲み残しはきちんと捨てて、
容器はリサイクルへ！

○飲み残したら冷蔵庫に入れて、早めに飲みきろう！



Q&A

「カテキン」には、殺菌作用があると聞きます。茶飲料のペットボトルであれば、何度かに分けて飲んでも大丈夫ですか？

- ・ 飲料の種類によって差はありますが、カテキンの殺菌作用により、開封後のペットボトル飲料の細菌などの増殖を防ぐ効果は、あまり見込めないとされています。
- ・ 茶飲料であっても、他のペットボトル飲料と同様に取り扱いましょう。

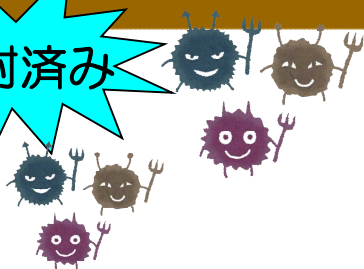


Q&A

ボトルが膨らんだり、飲み残しに濁りがなくても、飲み残したペットボトル飲料を再度飲むことはやめた方がいいですか？

- ・ 開封後のペットボトル飲料の変化については、いくつかの調査や研究がされていますが、いずれの論文も「口をつけたペットボトル飲料を保存し、再度飲用することは望ましくない」と結論づけています。
- ・ 見た目やにおいに変化がなくても、細菌が増殖している可能性があることは知っておいてください。

開封済み



出典：内閣府食品安全委員会 e-マガジン

